

## 令和4年度 学校評価（学校関係者評価のまとめ）

### 1 総務部〔評価平均：A〕

○新型コロナウイルス感染症対策を取りながらのむつみ会、あさひ会、あげまき会の調整役としてご尽力いただいた。感謝している。

○コロナ禍や大学入試制度の変革の中、秋田北高では先生方、保護者、あげまき会等の連携により、一丸となって生徒たちを守っていることが分かり、心強い。

○むつみ会をはじめ、多くの関係団体との調整等、多岐にわたる業務を的確に行っていると思う。

○むつみ会第2回評議員会・委員会を対面とオンラインを併用した形式で行われるなど、コロナ感染拡大防止の上で、協力体制の強化に努めている。各種儀式や全校集会をコロナ感染拡大防止に配慮しながら、対面やリモートで円滑に行われた。

○コロナ禍において、常に状況が変化中、儀式や行事等を感染に配慮しながら安全に実施するのは大変な労力を要したと思う。学校行事への参加は、生徒は勿論ですが保護者にとっても貴重な経験となる。引き続き、油断のできない状況ではあるが、引き続き、校外との連携も含めて円滑に運営できるよう企画をお願いしたい。

### 2 教務部〔評価平均：A〕

○秋田北高は、秋田市内の中でもトップクラスの人気校であり、現状況下において無事中学生体験入学を行えたことは大変良かったと思う。

○2022年に改訂された新学習指導要領に基づき教育課程を新しく編成することは、大変な仕事だと思う。

○学校運営の骨格を成す部門として確実な取り組みをしていると思う。また、生徒の多様化に伴うマニュアル作成に取り組むなど積極的な姿勢も評価できる。

○教育課程の編成とその効果的な実施、対応マニュアル作成、各教科との連携は、今後も重要課題である。

○日々の時間割管理や考査等の計画、また、新入生からの新学習指導要領運用により、教育課程や評価の在り方も見直す必要があるなど多忙な1年だったと思う。ただ学校全体が教務部に頼りすぎるのは良くない。改善策にもあるように、教科ごとの検証を十分に実施し、全職員で改善の方向を探ることが必要と考える。

### 3 生徒指導部〔評価平均：B〕

○生徒数も多いので、全員に意識させることは大変難しいかとは思いますが、無事故を目指してがんばってほしい。

○生徒たちのより良い学習環境づくりに尽力し、一人一人の安全を願い、最大限の努力をしていると思う。

○「気品」や「誠実」といった北高生の良き伝統を確実に繋ぐ取組がなされていると思う。

○交通ルール、SNSへの不用意な書き込み、等は命に係わる重大案件につながりかねない。保護者・地域社会・諸機関と良好な関係は大変重要である。安易な規範破りなどの、小さな芽をつぶしていくことが

肝心であり、普段からの注意が必要。

○生徒指導では、指導方針や指導内容・方法に関する教職員の共通理解が大切。さらに保護者との連携も重要となるが、アンケートの質問・要望を見ると様々な考え方がいらっしやるようなので、全体に対して丁寧に学校の方針を説明する必要がある。引き続き、指導の在り方を学校全体で検討していただきたいと考える。大きな問題は無いようだが、周囲の目につかない場所で動いていることがある。

#### 4 進路指導部〔評価平均：A〕

○しっかりとしたカリキュラムが組まれていると思う。

○大学受験システムの変化、学習指導要領の改訂等に伴い、進路指導はより複雑になっていると思う。先生方の熱心な指導に感謝する。

○生徒たちの夢実現のためキャリア教育に注力し、3年間を通じて体系的な取組が成されていると思う。近年の実績も評価できる。

○各学年において、教員の取組は大変高く評価できる。今年度の進学者の合格率も期待している。

○重点目標の達成に向けて、学年ごとの計画が具体的に示されており、各教科や担任が動きやすい体制がとられている。特に、生徒の主体性を重視する指導は効果的だと思う。保護者アンケートを見ても、効果的な指導が行われていることへの評価が高くなっている。ただ、目標達成の度合は個人差が大きいと考えられ、個々の実情に適した声かけが重要となる。進路指導部として担任・学年部に的確なアドバイスをしていただき、生徒全体が向上していく指導を目指していただきたい。

#### 5 特別活動部〔評価平均：A〕

○北高祭や文化教室など、今年度はしっかりと開催できたことはとても良かったと思う。また、秋田芸術劇場ミルハスを使用したことは、生徒たちの大きな思い出となったと思う。

○コロナ禍での部活動は難しかったと思うが、文化、スポーツの各部は素晴らしい成果を上げていて感動した。

○近年の運動部、文化部の活躍は高く評価されると思う。文化祭をはじめとする生徒会活動も早く日常を取り戻せるよう期待している。

○3年ぶりに北高祭が一般公開として行われたことは評価できる。部活動の業績も高いレベルで結果を出している。

○生徒会行事に活気が戻ってきたことは嬉しい限りである。保護者アンケートからも状況は確認できる。在校生はコロナ禍以前の状況がわからないので指導にも苦慮したことと思う。ただ、今年度を通して新たな発見もあったと思う。以前のやり方にとらわれない新しい方向に踏み出すチャンスかもしれないので、検討してみてほしい。部活動は意欲的に取り組んで良い成績を残してくれた。高校入試の制度が変わるが、各顧問と連携しながら、引き続き県全体をリードしていただきたい。

#### 6 研修部〔評価平均：B〕

○「北高型授業」の充実を図るという目標に対し、この状況の中では、十二分に取り組むことができたのではないと思う。

○外部の方を招いたり、出かけてのキャリア教育は難しかったと思う。そういう中でもICTの利用は

教育等に大きく貢献している。

○「北高型授業」をブラッシュアップする様々な取組を評価している。また、ICT化に伴い、あさひ会等で支援すべきものがあれば提案していただきたい。

○ICTの活用と、それによる教員の種々の軽減負担がうまくつながるような工夫が求められる。

○授業研修が授業改善の重要な機会だとは認識していても、業務が多忙を極める中で取組が浅くなってしまふ先生もいらっしゃるかもしれない。しかし、デジタル化教育が急速に進み、新学習指導要領の導入や評価方法の改善を求められる状況にあつては、生徒の学力向上に向けた校内研修は重要だと考える。是非、多くの先生に取り組んでいただけるように工夫した計画を立てていただきたい。

## 7 保健部〔評価平均：A〕

○クラスターを防止することができたのが何よりだと思う。

○普段の環境美化や衛生等の他に、コロナ禍に対応し、教室内換気やアルコール除菌等、何倍も忙しかったと思う。

○通常の健康管理に加え、ここ数年はコロナウイルス対応にも注力され大変なことだと思いが、北高の取組は高く評価できている。

○新型コロナやインフルエンザ等の感染防止対策は、学校運営に支障ない範囲で大変よくなされている。

○コロナ禍への対応、お難儀をおかけしている。新型コロナの規制緩和が進むと、校内での対応も変わってくると思う。今後も頭を悩ませる状況は続きそうだがよろしく願いしたい。基本的には生徒が主体的に健康意識を高めることができるよう指導していくことが重要となる。保健便りの配付や担任からの声かけ、保健体育科と連携しての指導などの感染症対策を行ってほしい。改善策3に記載の体調不良は「こころ」の面なのか。増えているのは心配である。

## 8 教育相談部〔評価平均：A〕

○繊細な課題であり、一人一人に対し臨機応変にサポートしていかなければいけないと思うが、よく対応して下さっていると思う。

○学習や生活上の悩みを抱える生徒を支援するのはとても良いことである。特別支援が必要な生徒への対応は本当に難しく、先生方や生徒たちの協力、保護者の理解が最も重要だと思う。

○敏速かつ繊細な対応が求められる部門だと再認識した。今後も生徒に寄添った運営が成されるよう期待している。

○生徒の心のケアに関し、直接対応に当たる教員の負荷は大変大きい。保護者も含めたメンタルヘルスケアの在り方の講演会は重要と考える。

○メンタルに不安を抱える生徒が増えてくる中、教育相談部が担う役割が大きくなっている。今年度の具体的な取組状況の記載を見て、専門家と連携するなど大変丁寧に対応していただき感謝している。引き続き、全体に対する指導と、個別に対する心のケア等をバランス良く実施し、適切な対応と支援をお願いしたい。指導に際しては、現状の把握は勿論であるが、家庭環境や入学以前の状況などの情報を持っていると参考になる。

## 9 図書部〔評価平均：B〕

○メディアリテラシーの育て方、必要性が特にこの時代は課題として上げられると思う。今後、具体的に力を入れ進めていただきたい。

○図書館は、いろいろな世界への窓を開いてくれる大切な場所だと考える。図書だけではなく、インターネットやメディアによる膨大な量の情報を取捨選択する方法を生徒たちに教えてほしい。

○デジタルネイティブ世代は、ネット上の情報を過度に信用する傾向が強いと感じている。北高生には高い知識力と共に優れたリテラシー力も備えてほしいと強く思う。メディアリテラシー育成のさらなる取組に期待している。

○図書も、Web 上での利用が可能な電子書籍の契約などを増やしていく手段を考えてはどうか。

○読書習慣のない北高生は多いと思う。調べ学習をはじめ、活字を読む機会はスマホやタブレットがほとんどだと思うが、語彙力や文章表現力の向上、さらに心のリラックスなど読書がもたらす効果は沢山ある。このような点も生徒に理解させ、読書機会の推進を図るようお願いしたい。スマホ社会が定着した今だからこそ、北高生には本を読んでもらいたいと考える。

## 10 情報視聴覚部〔評価平均：A〕

○生徒全員のタブレット使用は大変すばらしいと思いますが、問題等が発生した場合は対応をお願いしたい。

○先生方のおかげでネットワークがきちんと運用されている。北高での情報の授業はとても丁寧であることに感謝している。

○あさひ会で支援すべきものがあれば提案してほしい。

○今後も、DXを進めて、教員の事務的負担が軽減されていくことを強く希望する。

○校内ネットワークの円滑な運用に向けて引き続きよろしくをお願いしたい。また、機材の故障に関しては、新年度に向けて支障が出ないように早めの対応をお願いしたい。

## 11 1年部〔評価平均：A〕

○4月以降、通常生活スタイルに戻ることが予測されるので、あらゆる状況に対応できるよう2年生へ向けての準備をしていただけるよう期待している。

○基本的な生活習慣を大切に、それを土台に主体的に勉学へ取り組むことを支援してくれている。夢ナビプログラム等の様々なプログラムを用意して、生徒たちの意欲を高めていることは素晴らしい。

○北高生として生活、学習する最も大切なスタートの学年として、より充実した学校生活、そして、高い学習目標を立てられるように期待している。

○進路選択の幅を広げる取組は評価できる。回を追うごとに学習時間が減少する傾向は少々気になる。

○家庭学習時間の確保は毎年の課題ですが、高階学年ではどのようにして学習に気持ちを向かわせようとしているのか。学年としての考えを全体で共有して取り組むことが必要だと思う。友人関係で悩んでいる生徒への対応は丁寧に行っていただいている。アンテナを高くして今後もよろしくをお願いしたい。日常生活がコロナ禍以前の状態に戻りつつある。気を遣う部分も多くなると思うがよろしくをお願いしたい。

## 12 2年部〔評価平均：A〕

- 主体性、行動力を養う意味でも3年ぶりの修学旅行を行えたことは、生徒たちにとって、とてもプラスとなったと思う。
- 高校2年生は、具体的な進路目標が見えてくる大切な時期だと思う。先生方の多方面からの支援により、生徒たちは自分の進む道を次第に明確にしていると思う。精神面での問題を抱える生徒の対応で先生方の負担が大きくなることが心配である。
- 本学年が抱える課題とその解決策を的確に把握され、実行に移そうとしている点が評価できる。
- 課題研究の取り組みは、大変高く評価できる。メンタルケアに対応する教員の負荷軽減は今後も大きな課題である。
- コロナ禍の影響は少なくなったものの、まだ油断できない状況は続いている。学力向上や心のケア、また、保護者対応など様々な場面で学年部全体で効果的な取組を進めてくださっていることに感謝している。評価に記載されているように、学年部内の情報共有は勿論、職員全体の連携はすべての課題に対して重要となる。引き続きこの部分を大切にしてほしい。学力では、中位層・下位層の奮起に期待している。コロナと共に過ごした3年間、試行錯誤しながら対応していただき、この難局を乗り越えていただいたことに、感謝しかない。

## 13 3年部〔評価平均：A〕

- ほとんどの生徒が大学進学する秋田北高では、3年次、一人一人が具体的な目標を持って集まっている。個々への指導も丁寧で、不得意な部分は補習でより充実するよう応援してくれ、3年部の先生方のご尽力に感謝している。
- 様々な場面で結果を求められる学年として、今後の課題や改善策を確実に次年度へ引き継ぐことで、さらなる成果を上げられるよう期待している。
- 丁寧な進路指導が行われている。多くの生徒が第一志望に合格できることを願っている。
- 部活動や学校行事、また、進路に向けて取り組む姿で最上級生としての存在感を示している3年生の成長を大変嬉しく思う。今年度の3年生は入学早々からコロナ禍となり、例年とは違うかたちでの高校生活となったが、学年主任を中心とした学年部の先生方のお力で立派に育てていただいた。いよいよ前期試験が始まるが、力を発揮してくれることを期待している。